

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum



「とんがり帽子のメモル」スチール



「まんがインショップ物語」絵コンテ



「一休さん」スチール

「一休さん」キャラクター表



カラーチャート

特別展

練馬とアニメーション

アニメ制作のいまむかし

観覧無料



アニメーター作業風景



撮影作業



「世界名作童話シリーズ ワーオ！メルヘン王国」より「アラジンと魔法のランプ」スチール



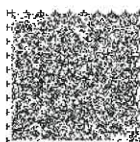
「世界名作童話シリーズ ワーオ！メルヘン王国」より「アラジンと魔法のランプ」アフレコ台本



「劇場版総集編 ガールズバンドクライ 前編 青春狂走曲」ポスター



「長靴をはいた猫」ポスター



Uni-Voice

令和7(2025)年

6.21_土～8.11_{月祝}

特別展「練馬とアニメーション — アニメ製作のいまむかし —」

会 期: 令和7年6月21日(土)～8月11日(月・祝)
会 場: 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室
観覧料: 無料

ジャパンアニメーション発祥の地の一つである練馬区。当館では、練馬区を代表する産業であるアニメーション製作に関わる貴重な資料を収蔵しています。本展では、作品が完成するまでの過程をたどりながら、アニメ製作の魅力を多角的に紹介します。



「一休さん」スチール

関連イベント(参加費無料)

「おジャ魔女どれみ」シリーズのプロデューサー 関弘美さんトークイベント&どれみちゃんがやってくる!

日時 7月21日(月・祝) 13時30分～14時30分
出演 関弘美(東映アニメーション(株)営業企画本部所属プロデューサー)
定員 90名(抽選)
会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

詳しくは、本展チラシ、
当館ホームページを
ご覧ください



アニメ「パンダなりきりたいそう」のパンダさんがやってくる! パンダさんといっしょにいっぱいたいそうしょ〜!

日時 7月20日(日) 11時開始/13時開始/15時開始 各回20～30分程度
定員 各回70名
会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
申込 当日9時より整理券を配布(先着順)

映画「白蛇伝」の上映会 日本初のオールカラー長編アニメーション映画

日時 7月27日(日) 10時開始/13時開始/15時開始 各回80分程度
会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
定員 各回90名(先着順、申込不要、入退場自由)



「白蛇伝」ポスター

展示解説会

日時 7月30日(水)、8月3日(日) 各回14時開始(30分程度)
会場 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室(直接会場にお集まりください)

常設展示室コーナー展示「練馬とアジア・太平洋戦争 関連展示」

本年令和7(2025)年はアジア・太平洋戦争終戦から80年です。当館では、常設展示室の一部で練馬とアジア・太平洋戦争に関するコーナー展示を7月23日(水)から行います。

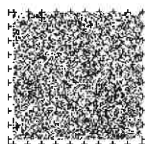
昭和18(1943)年8月、帝都防衛のため、現練馬区の土支田・田柄・高松地区に成増陸軍飛行場が建設されました。地元の人はこれを「高松飛行場」と呼び、隊員との交流もありました。この飛行場からは、特攻隊も出撃し、飛行場周辺には、飛行機の格納や緊急退避のため

の掩体壕、上空の敵機を撃ち落とすための高射砲の陣地、夜間に敵機を照らすための探照灯の陣地なども築造されました。

今回の展示では、成増陸軍飛行場第47戦隊で訓練を受けた元隊員から近年寄贈された「操縦手簿」や、現練馬区内の国民学校の学童が疎開先から両親へ宛てた手紙など、アジア・太平洋戦争に関する資料を展示します。どうぞご覧ください。

ギャラリー展示 平和祈念パネル展

8月1日(金)～8月19日(火) 主催 練馬区総務部総務課 TEL:03-5984-2600
東京大空襲や広島・長崎への原爆投下、戦時下の練馬などに関するパネルを展示します。



令和6年度寄贈資料

昨年度も多くの方から当館に資料を寄贈していただきました。受領した資料は、常設展示や調査研究等に活用させていただいています。ご寄贈くださいました方々に、厚く御礼申し上げます。

寄贈者名 (敬称略・50音順)	資 料
牛米 努	東映東京撮影所制作映画「魚河岸の石松」プレスシート、新興キネマ大泉撮影所超特作サウンド版寂光愛他、映画上映案内
内田 富雄	田舟
漆原 一博	文書類
加藤 春雄	『豊嶋嵐』、『照日松』
佐藤 高	年中行事関係写真
末吉 正夫	石神井川や上石神井駅での西武鉄道車両などの写真
杉浦 豊	2号自動式卓上電話機、前掛け
関口 茂	文書類
両角 まり	「プリントゴッコ」、『東京都内乗合バス・ルートあんない』
山内 敏子	たばこ陳列瓶、看板、郵便業務用の秤、厚さ測定定規、幟(年賀状販売促進用)、扇風機、たらい、文書類
個人	文書類



田舟



「漆原家文書」

詳しくは下記「新収蔵資料紹介」をご覧ください。

新収蔵資料紹介

漆原家文書

常設展示室「千川上水」のコーナーで展示中

江戸時代、下練馬村の本百姓であった漆原家に伝わる文書群には、幕末期に同村内の正久保橋(石神井川にかかる橋。現在もほぼ同じ場所にあります)の西側に設置された、通称「源三郎水車」に関する資料が残されています。

ここでは、百姓・源三郎が作成した水車の建設願いにに関する文書を何点か紹介します。

まずひとつは、嘉永7(1854)年11月に記された「水車取建議証文」(以下「証文」と記す)です。村役人や石神井川沿いに田を持つ百姓たち(以下原文の表記にしたがい「田持衆」と記す)に対して、同意を得たうえで正久保橋付近に水車を建てたいと申し出たもので、もし農業に悪影響が出た場合には水車をただちに取り壊し、現状復帰することを約束しています。

もうひとつは、「証文」提出から約半年後の安政2(1855)年4月に記された「水車議定書入」(以下「書入」と記す)で、理解が得られずに困っていた源三郎が、3年間の試運転を許可されたことへの喜びと、水車営業時の遵守事項を記したものとなっています。

これら2つの資料は、水車建設を望む源三郎の視点で記されたものですが、本文書群には水車の建設に反対する田持衆11人による「乍恐以書付ヲ御嘆願奉申上候」(おそれながらかきつけをもってごたんがんもうしあげたてまつりそうろう)という文書(以下「嘆願状」と記す)も残されています。安政2年4月に記されたもので、おそらく「書入」を受けて作成されたと考えられます。

この「嘆願状」には、ただでさえ水はけの悪い当地に水車が建造された場合、周辺の耕作地に水がたまり作物が育たなくなることへの不安や、水が溢れて道にまで流れ出し、通行人の迷惑となるといった懸念が述べられて

います。

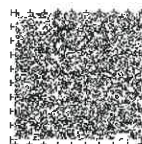
ここで、ひとつ気になる点があることにお気づきでしょうか。源三郎が記した「証文」には、水車建設の条件として、川沿いの田持衆の同意が必要でした。それでは、水車の建設が認められたと源三郎が主張しているにも関わらず、なぜ田持衆は「嘆願状」を提出することになったのでしょうか。田持衆の言い分をさらに詳しく見てみましょう。

「嘆願状」には、水車建設への彼らの反対にも関わらず、源三郎が石神井川沿いに田を持たない百姓たちから署名・捺印を取りつけ、まるで川沿いの田持衆の同意を得たかのように書類を整えて、事を進めようとしたことが告発されています。さらには、今後、源三郎はもちろん、同じ場所に水車を建てようとする者が現れた場合には、厳しく対処してほしいと訴えたのです。

「嘆願状」の宛先は、下練馬村の幕府代官である小林藤之助であり、この騒動が村内では解決できず、代官所へ訴え出る事件に発展しつつあったことがうかがえます。

この「嘆願状」は下書きであり、実際に提出されたかは不明です。分かっているのは、源三郎が実際に水車稼業を始めるのは安政4(1857)年からということです。

精粉・製穀に利用された水車は、農業用水を動力に用いていたため、稼働には周辺の農家との調整に時間がかかるのが一般的でした。本例でも、騒動から稼業開始までに2年を要していることから、村内での調整に時間がかかったことが推測されます。



(学芸員 平沼真実)

第13回ねりま手工芸公募展 作品募集について

石神井公園ふるさと文化館を会場に「第13回 ねりま手工芸公募展」を開催します。
あなたの作品を発表してみませんか。皆様からのご応募をお待ちしています。詳しくはホームページをご覧ください。



- 応募資格: 練馬区在住・在勤・在学の16歳以上(令和8年4月1日時点の年齢)のアマチュアの方
- 応募作品: 1人1点または1組 ※応募者本人のオリジナル手工芸作品で完成後2年以内の未発表のもの
- 募集期間: 6月18日(水)～7月18日(金)必着 ※応募・出展無料
- 審査方法: 練馬区手工芸作家連盟・練馬区伝統工芸会・石神井公園ふるさと文化館長による審査の上、展示作品を決定します。

催し物のご案内(7月～9月)

石神井公園ふるさと文化館展覧会

特別展「練馬とアニメーション アニメ製作のいまむかし」

6月21日(土)～8月11日(月・祝)

※展覧会および開催イベントの詳細等につきましては、2ページをご覧ください。

特別展「昭和 日常の風景―「昭和100年」―(仮称)」

9月13日(土)～11月3日(月・祝)

夏休み事業

夏休みクイズラリー

石神井公園ふるさと文化館を探検しよう

7月12日(土)～8月31日(日) 参加無料

クイズのこたえをさがして探検しよう!

季節展示

旧内田家住宅にて歳時にあわせた年中行事を再現します。

七夕飾り

7月3日(木)～7月8日(火) 観覧無料

その他イベント

第1回絵本とあそぶ会

8月24日(日)14時～14時45分

対象 幼児～小学生と保護者 定員 50名

参加費 無料 申込 事前申込制

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

蓄音機とSPレコードのファミリーコンサート

8月11日(月・祝)13時30分～14時30分

定員 90名(当日先着順) 参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

成増陸軍飛行場

―東京都区内に唯一存在した特攻隊基地―

8月17日(日)14時～16時

講師 山下徹(郷土史家)

定員 90名(抽選) 参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

申込 事前申込制

ギャラリー展

写真展 ホタル―生命の輝き―

5月31日(土)～7月13日(日) 観覧無料

第13回ねりま手工芸公募展

8月31日(日)～9月6日(土)10時～17時

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

9月20日(土) ①13時30分～15時 ②15時30分～17時

対象 中学生以上 定員 各回20名(抽選)

解説 当館オーディオ専門員 参加費 300円

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階

五味康祐オーディオ展示室

申込 事前申込制

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内 (令和7年6月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) 入館無料 ※特別展は一部を除いて有料
休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

石神井公園ふるさと文化館

徒歩10分

分室

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分

西武バス 荻14

(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅)

みどりバス 関町ルート (関町福祉園～武蔵関駅南口～
上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)
「JA東京あおば」下車 徒歩5分

西武バス 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～
荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)
「三宝寺池」下車 徒歩2分

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武バス 吉60 (成増町～石神井公園駅北口
～上石神井駅～吉祥寺駅)

西武バス 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅
～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)
「石神井郵便局」下車 徒歩3分



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.55

令和7(2025)年6月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061

